

ひと あい えどがわ

No. 3

江戸川総合人生大学発

人と地域をつなぐ情報紙

EDO GAWA
SINCE 2004
SOUGOU-JINSEI-DAIGAKU

発行／江戸川総合人生大学
編集／「ひと あい えどがわ」
編集委員会
発行日／2007. 8. 5

学問のすすめ

江戸川総合人生大学学長
北野 大



我が国は江戸時代1639年から1853年のペリー来航まで、実に215年間もの間、キリスト教の禁止を名目とし、外国人が日本に来ることや外国人との貿易、また日本人が外国に行くことを禁止する鎖国を続けました。この徹底した厳しさは海外にいた日本人の帰国も認めないものでした。ただし中国、オランダについてはキリスト教流布の恐れがないことより、長崎の出島を唯一の鎖国中の窓口とし、ほそぼそとこれらの国との交流を続けました。

この間国内では武士の子弟は藩校に、また庶民の子弟は寺子屋で素読、そろばん、漢籍などを学んでいました。この素読（文章の意味は理解できなくてもまず文字を声を大にしてよむこと）の大切さは、よい文章を書くための勉強方法として、昨今見直されています。

さて開国後、我が国は富国強兵、殖産興業の方針のもと、急速な発展をしました。あの眠れる獅子と言われた中国を日清戦争で破り、また大国ロシアにも日露戦争で勝ち

ました。私はこれらの戦争を美化するつもりはありませんが、小さな島国で200年以上も鎖国をしていた国が、開国後わずか40年足らずでこれだけのことをしたわけ

です。その理由は何でしょうか。私はまさに藩校や寺子屋に代表される江戸時代の教育にあると思います。江戸時代は現代と異なり文化・文明の拠点が分散していました。大分県の日田市にあった咸宜園（かんぎえん）は広瀬淡窓により1817年に開かれた漢学塾ですが、1897（明治30）年に閉学するまで実に4,000人もの若者がこの塾で学んでいます。ここで学んだ人には大村益次郎、高野長英らが

おります。失礼ながら現在でも決して交通便利でない日田に当時66もの国（藩）から人材が集まったと言います。塾生には規律ある共同生活を営ませ、競争試験により進級させるという厳しい指導の中、夜には団らんの場を設け、塾生と塾主が交わったといえます。まさに教育の理想の姿が見られます。論語に「学びて思わざればすなわち暗し、思いて学ばざればすなわち危うし」とあります。どんなことを始めるにもまずきちんと学ぶことが大切です。

わが江戸川総合人生大学には咸宜園に見られるような厳しい競争はありません。ただ学生間、学生と教職員間の団らは十分にあります。

是非、江戸川総合人生大学と一緒に学び、団らの輪に入りませんか。

地域に見つきたい生きがいと仲間！ 『地域活動きっかけ広場』を開催します

身近な地域で活動したいけれど、きっかけがなくてという方も少なくありません。そんな人のための催しです。学ぶことと健康・生きがいの関係を解き明かす基調講演と総合人生大学での学びをヒントに仲間とともに手探りで活動を始めた学生の活動を紹介します。

【当日のプログラム】

(1) 基調講演：

『健康で生きがいのある人生～学ぶことと仲間の大切さ』（仮）

講師 栗盛須雅子

（国際医療福祉大学在宅ケア研究センター）

(2) 地域活動きっかけ広場：学生の活動を紹介します

【開催日時】 8月27日（月）14時～16時
【会場】 タワーホール船堀（3階産業振興センター）
【定員】 50名
【費用】 無料

※詳細は広報えどがわ8月10日号、総合人生大学HPをご覧ください。



3月に江戸川学科2期生が主催した「地域デビュー交流会」のひとこま

学 生 地域のために自分を活かしてみたい。江戸川総合人生大学はそんな人のために江戸川区が開設した区民のための大学です。現在、1年生と2年生合わせて約170人の学生が、熱心にそれぞれの目的や課題に向けて授業に取り組んでいます。

募 集 現在、第4期生の募集を行なっています。（＊学校教育法等で定める正規の大学ではありません。）

お ・ も ・ し ・ ろ ・ 授 ・ 業

〈江戸川学科3期生〉 手づくりえどがわ講座

学生による手づくり授業

江戸川学科の1年次には“手づくりえどがわ講座”といって、学生が講師になって熱弁をふるう大変おもしろい授業があります。

今回はその1コマ「まごのてマップ」の授業をご紹介します。

授業時間は2時間！まず飛び出したのは手づくりの紙芝居でした。内容はある老夫婦の会話を通して年配の人が散歩に出かける時の不自由さを訴えていました。次はマップを作るために出回っている地図を検討したことや散歩コースを歩いてみたこと、デイサービスでの聞き取り調査の結果などをパワーポイントで紹介。その後、出来上がった「まごのてマップ」をみんなに配り、マップの特徴とコースを説明。そろそろ聞き手が疲れてきた頃・・・“私の町のここはどう？”と題してグループワークが始まりました。「あそこの公園がおすすめよ！」「ここのランチは安くて美味しい！」等たくさんの情報が集まり、それぞれの班がプチ発表を行いました。最後は手元のマップをみんなでポケットサイズに折り、マップの可能性を探るまとめ、そして先生の講評で終了時間となりました。



聞き手を飽きさせない工夫

このグループに限らず、他のグループの授業も聞き手を意識した様々な工夫がありました。

例えば①ゲストティーチャーを招いて有意義な話をその場で聞ける演出
②江戸川区の歴史をクイズにして出題
③パトロールの寸劇（先生方が不良女子高生役で登場する場面も・・・）を披露。学生のまじめさやユーモアや個性がたっぷり表れた授業でした。

もうひとつの勉強

授業が全て終わって1カ月が経ちました。振り返ってみると、今回の“手づくりえどがわ講座”は単なる研究発表の場だけではなくありませんでした。はじめのテーマ決めから発表までグループの意見が必ずしも一致しない中で、それぞれの意見をまとめ、作り上げる過程そのものが、地域づくりには欠かせない勉強でした。



授業の様子（左、上）と「まごのてマップ」

〈子どもコース3期生〉 大相撲中村部屋訪問記

子どもコースには「大人の社会に仲間入りする若者達」と題する講義があります。講師は“今日の力士養成のあり方”をテーマに修士号を取得し、「相撲部屋24時おかみさん奮戦記」（講談社）など著書も2冊ある、大相撲・中村部屋のおかみさん、中澤嗣子さん。授業の予習のために、3期生が区内中央4丁目にある中村部屋を訪問しました。



厳しい稽古とチャンコ番

中村親方（元関脇・富士桜）とおかみさんが力士たちと住む中村部屋。指導の厳しさでは相撲界で5本の指に入るといわれる中村部屋の稽古が、朝の6時から始まっていました。感動を覚えるほどの肉体と肉体がぶつかり合う音と汗、気迫。そこには学校教育では学べない教育があり、中学卒業後すぐに入門した若者たちが、自分の心と体、技を鍛える姿がみられました。

その日一日、部屋の生活の全責任を引き受けるチャンコ番。掃除、洗濯、食事の準備、片付け、来客や電話対応などチャンコ番の仕事は主婦以上。食べることも仕事、作ることも仕事で、味付けや給仕の作法まで決められており一切の手抜きはできません。

「家事は女性の仕事」といわれていた時代、若い力士たちは買い物力ゴを下げたの買出しや炊事、洗濯に恥ずかしさを感じ、それをばねにして強くなろうと懸命に努力したといいます。最近は、男の子にとっても買い物やお手伝いが



稽古の様子



中村親方（左端）とチャンコをいただく学生

日常的になり、そうした感覚は少なくなっているそうですが・・・。
中村部屋では、仕事である以上決められたことをきちんとこなすこと、礼儀を正しく身につけること、相撲を伝統的な国技とわきまえることを大事にしています。親方には親方としての、おかみさんにはおかみさんとしての愛情が伝わることで、若い力士たちが厳しい稽古に立ち向かい、力士生活を続けていけるのだということを強く感じました。最後に、毎日稽古の終わりに力士たちが復唱する「中村部屋の五訓」をご紹介します。

ひとつ、返事は大きな声ですること
ひとつ、挨拶は大きな声ですること
ひとつ、掃除はきれいにすること
ひとつ、自分のことは自分ですること
ひとつ、時間は守ること

授業のワンショット



子どもコース：幼稚園での親子実験に大歓声



介護・福祉コース：グループで楽しく学習 生き生きと



国際コミュニティ学科：地域の外国人とのティーパーティ



江戸川学科：左近川での野外調査 たくさんの生き物に感激

オープンキャンパス2007を開催 授業の様子がよくわかりました！

7月5日、江戸川総合人生大学を体験してもらおうと『オープンキャンパス』が行われ、区民56名が参加しました。全体説明会に続き、2教室に分かれ「学科別模擬授業」を実施。“まちづくり入門～地域デビューしてみませんか？”がテーマの江戸川学科・佐谷学科長の授業では、グループワークを行い活発な意見が飛び交っていました。また、子どもコースの授業では、三輪学科長が“子育て支援について考える～学んだことを地域に活かす～”をテ



特別授業を行なう北野学長

マに講義。子どもコースの3期生がグループに入り、学んだことを紹介する場面もありました。学生スタッフと交流しながらの休憩をはさみ、「北野学長の特別授業」では、“食の安全～農業、食品添加物、遺伝子組み替え食品について考える～”をテーマに、ユーモアたっぷりの講義が行われ、満員の会場は盛り上がりを見せていました。参加者からは、「とても参考になりました。江戸川学科では学ぶテーマがたくさんあると思う。ぜひ入学したいと思います。」（60代・男性）「子どもコースを体験して、現場に行っ勉強するなどの授業の様子がわかりました。オープンキャンパスに参加してよかった。」（60代・女性）という声をいただきました。

「もったいない！」でめざす、エコタウン江戸川 えどがわエコセンター イベント情報

●涼し打ち水大作戦●

地球温暖化防止を願い、「打ち水」パワーで地球を冷やしましょう！今年もやります「打ち水大作戦」。
どうぞ自由に参加ください。
日時：8月22日（水）
1回目12：30～ 2回目14：30～
場所：タワーホール船堀
＊使用する水は貯留雨水や親水公園の自然水です
詳しくはえどがわエコセンターまでお問合せください。電話：5659-1651



●市民のための環境講座●

「リサイクルは地球を救えるか…」

廃プラをどうしていくのか。リサイクルの現状と課題について考えます。

講師：安井 至

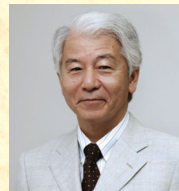
（国際連合大学副学長）

日時：9月1日（土）

13：30～15：30

場所：タワーホール船堀

参加費：無料



●環境学習リーダー養成講座●

「知って・学んで・実践」

環境について学びたい人！
環境学習の企画を学びたい人！
環境活動を進めたい人！
あつまれ～！！

開講：9月14日（金）～

全6回

参加費：1,000円（全会

通し、資料・保険代）



ボランティア講座のご案内（9月～11月）

ボランティアを始めてみたい方のための入門講座を開催します。皆さんの受講をお待ちしています。

講座名	内容／開催時期／回数など
音訳ボランティア養成	視覚障害者のために録音資料を作る方法等を学びます。9月～全10回
初心者のための手話	初歩的な手話を学びます。9月～全10回
ボランティア入門	様々な分野の活動を紹介・体験する、ボランティアを始めるきっかけ作りの講座です。10月～

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.vc.city.edogawa.tokyo.jp/《問い合わせ先》ボランティアセンター 電話：5662-7671



「NPO法人ふるさと東京を考える実行委員会」の田中克哲事務局長(52歳)を中葛西6丁目の関口美術館内にある事務局にお訪ねしました。

このNPOは「子どもたちが泳げる海の再生を目指して」というスローガンのもと、さまざまな活動を行なっています。

●新左近川や横浜でカキを育てているとお聞きしましたが。

■「マリンガーデニング」と呼んでいます。カキには水を浄化する力がすごくあるんです。

1個のカキが1日約240~400リットルの水を浄化するといわれています。家庭用の風呂の2~3倍くらいですね。このカキを育てることによって、東京湾の浄化をしようという遠大な計画です。

●仲間や協力しているグループなどは。

■近くの臨海小学校の3年生120名が総合学習の一環として、手伝ってくれています。6月にホタテの貝殻を一人3枚、それぞれに名前やメッセージを書いて新左近川に吊るすんです。

9月には貝殻にカキが付着したか、フジツボなどが付着していないかを調べ、11月、2月に観察会を行うんですが、うまくいくと1年間で約6センチくらいの大きさに育ちます。



臨海小学校での総合学習



準備は完了。右側が田中さん

また、横浜では、国交省などとも協力して7000枚ほどのホタテの貝殻に付着しているカキも飼育しています。

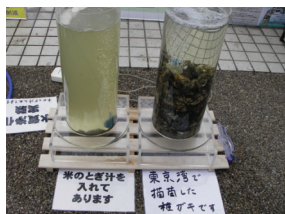
●とても楽しそうですけど、カキ以外にもどんな生物が浄化に有効なんでしょうか。

■海草類も大変有効です。今私たちは「葛西ののり」の復活も兼ねて「のりの養殖」にも挑戦しています。

海面を使う場合、占用許可等が必要です。問題は山のようにありますが、地元産業の活性化という面からも、海水の浄化という面からでも是非強力に押し進めて行こうと思っています。

●家庭排水などで海が富栄養化しているといわれますが。

■江戸川区の下水道はほぼ100%整備されています。しかし処理水にもチッソ、リンなどが含まれています。本来の生態系ならばそれをえさにする魚介類がいて、それを人間が食べるというサイクルがあったんですが、残念ながら東京湾の魚介類が減ったり、のり養殖ができなくなったりで漁業や養殖業を営んでいる方はすごく少なくなりました。そのため東京湾は富栄養化というよりは過栄養化の状態です。海で育った動植物を有効に



カキによる浄化実験

先生を紹介します

国際コミュニティ学科、霜島先生(区民教授)が韓国民団から表彰を受けました。



霜島和子(李銀子=イ・ウンジャ)先生は、このたび、長年にわたる韓・日友好親善交流活動への多大な貢献とその功績に対し、在日本大韓民

国民団から表彰されました。

先生は、1974年(昭和49年)に来日、以後韓国語の教師として教鞭をとるかたわら江戸川区の通訳ボランティアとして警察や病院等からの要請に24時間対応するなどの活躍で地域に貢献。

また、総合人生大学の開学と同時に区民教授に就任され、熱心な授業で学生から親しまれています。国際コミュニティ学科のOB、学生有志が祝賀会を開催し、その喜びを分かち合いました。

利用することも水質浄化にとってはとても大切なことです。

たとえば食料にならない付着生物などは肥料化するとか、バイオマスとしてエネルギーに転化させるとか…。

●「海の浄化」簡単に考えていたが、奥深く、大きな問題を抱えており、改めて彼らの運動に感銘を受けた。インタビューでは触れなかったが、「東京湾を泳げる海に」の署名活動に弾みがつくことを願わずにはいられない。

お問合せ先

NPO法人ふるさと東京を考える実行委員会
<http://www.furusato-tokyo.com/index.htm>

イベント情報 区民の皆様のご参加をお待ちします

催し	日時	会場	費用	主催・お問い合わせ・内容
お茶作法・箏観賞と交流会	8月7日(火) 9時30分~12時	行船公園 源心庵	無料 (先着10名)	江戸川アリスの会 上平 TEL 3680-6393
台湾日本語研修生を 半日家庭招待	8月8日(水) 11時~19時	左記留学生を家庭に招待します。 受入希望者はご連絡ください		江戸川アリスの会 上平 TEL 3680-6393
小岩の茶店 小岩お盆まつり	8月15日(水) 16時~19時	かるがもひろば (南小岩7丁目)	模擬店は 有料	すきま南風 高木 TEL 5668-5396 お盆をテーマに夕涼みしながらのお祭り
日本語留学生との 交流会	9月8日(土) 13時~15時	東方国際学院 東葛西5-15-2	200円	江戸川アリスの会 上平 TEL 3680-6393

サークル情報 他のクラスとの交流のために

(詳しくは各担当者にお問合せください。)

催し	日時	会場	費用	主催・お問い合わせ
パソコンスキルアップ講座 エクセルの基本	8月30日(木) 9:55~12:55	タワーホール船堀3F	500円	パソコンサポートの会 各クラスパソコンサポート委員まで
中仙道を歩こう会 (吟行)	8月29・30日	板鼻(安中市)~	実費	大淵(江戸川学科2期生) 3671-8269 詳しくはお問合せください
認知症サポーター 講習会	9月4日(火) 13時30分~	タワーホール船堀3F	110円 (テキスト代)	介護・福祉コース2期生 詳しくは大学事務局へお問合せください
第5回朗読会	9月8日(土) 10時30分~	タワーホール船堀3F	無料	堀川(江戸川学科2期生) 3679-4357

「ひと あい えどがわ」編集委員

島田久市(江戸川2) 戸塚 弘(国際2)
吉田英雄(国際2) 上原真樹子(子ども2)
井上周介(介護2) 晝間 樹(江戸川3)
竹重真紀子(江戸川3) 宮島安世(国際3)
矢作弘子(国際3) 山本忠明(国際3)
高森敬子(子ども3) 渡邊佳保里(子ども3)
大島玉枝(介護3) 杉田房子(介護3)
松丸洋子(介護3)

お問合せ/江戸川総合人生大学
電話: 5676-2431